



# 2024年3月期

## 決算説明会



**SEQTRAK**  
UNLOCK YOUR CREATIVITY ANYWHERE



2024年5月8日

ヤマハ株式会社

# 決算発表のポイント

## 決算概要

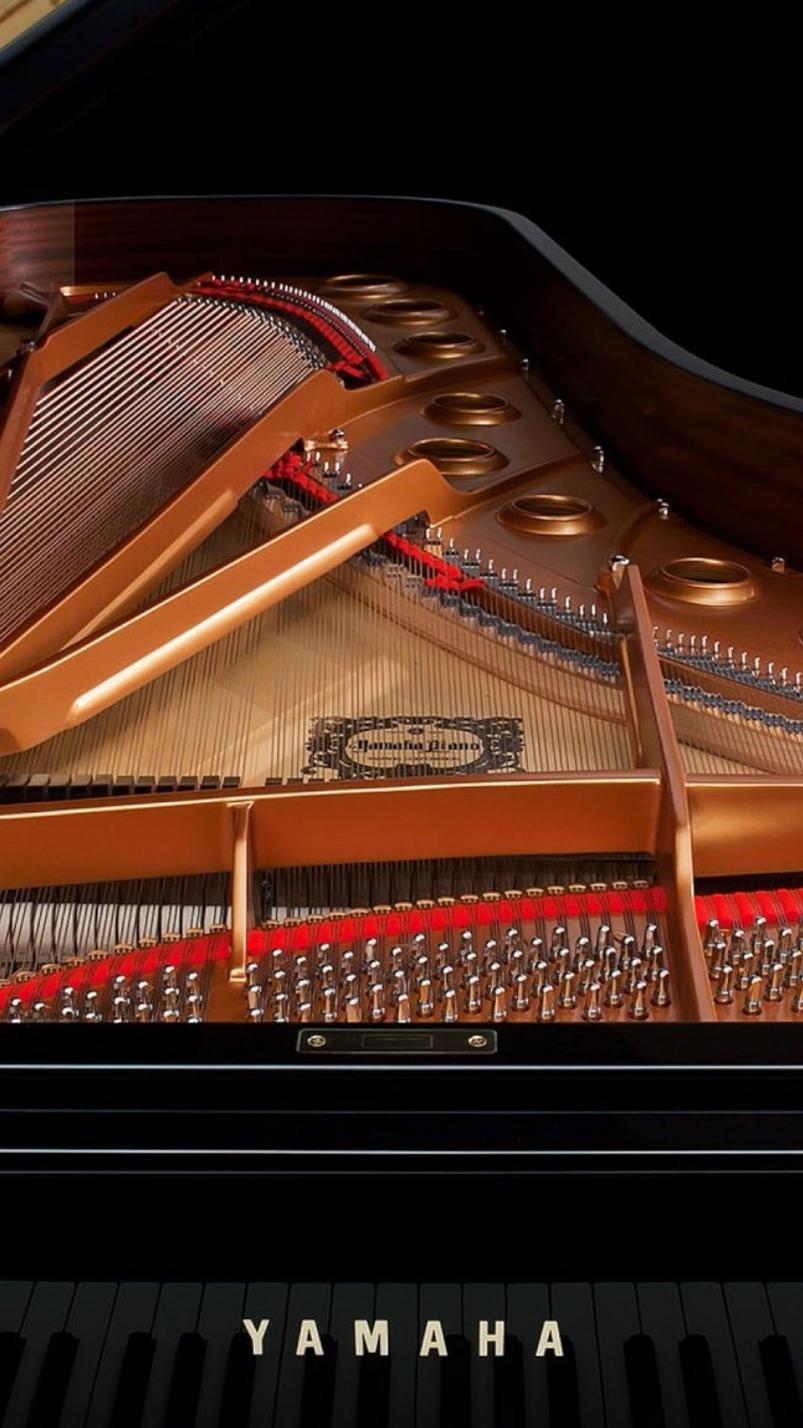
### 【24/3月期 通期実績】

- ・ デジタルピアノ（DP）の市況回復遅れ、中国市場の低迷長期化により楽器は実質減収も、法人向け音響機器の好調と為替影響により対前年増収
- ・ 事業利益は、楽器の減収と在庫削減のための生産調整、一時処理費用等により減益
- ・ 当期利益は、事業利益減に加え、ピアノ製造工程の減損損失等、構造改革費用43億円を計上したことなどから減益

## 業績予想

### 【25/3月期 通期予想】

- ・ 市況が引き続き不透明な中、中国の市況低迷を踏まえ、売上収益は前年並みを予想
- ・ モデルミックスの改善、構造改革の効果等により増益を予想



# 1. 決算概要

## 業績概要

(億円)

	23/3	24/3	前期比	
売上収益	4,514	<b>4,629</b>	115	<sup>*2</sup> +2.5%
事業利益 (事業利益率)	459 (10.2%)	<b>337</b> (7.3%)	△122	△26.6%
当期利益 <sup>*1</sup>	382	<b>296</b>	△85	△22.4%

\*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

<sup>\*2</sup> △2.7%  
 (為替影響除く)

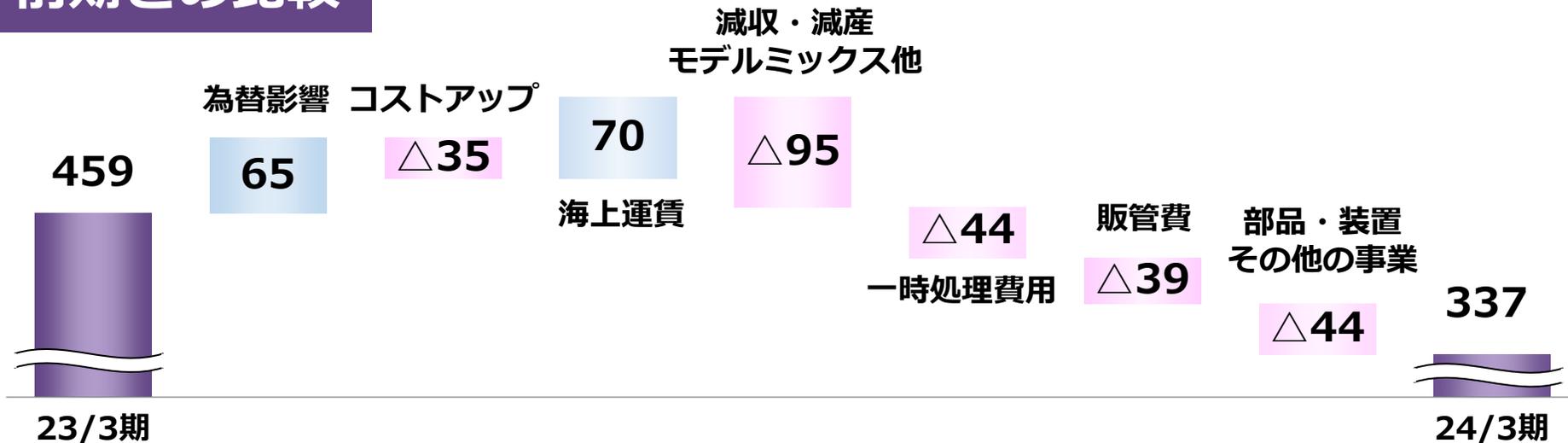
## 為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	135	<b>145</b>
	EUR	141	<b>157</b>
利益 (決済レート)	US\$	136	<b>144</b>
	EUR	136	<b>146</b>

# 事業利益増減要因

## 前期との比較

(億円)



## 前回予想との比較



# 事業別業績

(億円)

		23/3	24/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	3,027	3,052	25	156
	事業利益	362	253	△109	45
	事業利益率	12.0%	8.3%	△3.7P	
音響機器事業	売上収益	1,076	1,211	135	67
	事業利益	35	64	29	12
	事業利益率	3.2%	5.3%	2.1P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	411	366	△46	13
	事業利益	62	19	△43	8
	事業利益率	15.1%	5.3%	△9.8P	

# 業績予想

(億円)

	24/3	25/3 (予想)	前期比	
			24/3	25/3
売上収益	4,629	<b>4,650</b>	21	+0.5% <sup>*2</sup>
事業利益 (事業利益率)	337 (7.3%)	<b>450 (9.7%)</b>	113	+33.7%
当期利益 <sup>*1</sup>	296	<b>340</b>	44	+14.7%

\*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

\*2 +0.7%  
(為替影響除く)

## 為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	145	<b>145</b>
	EUR	157	<b>155</b>
利益 (決済レート)	US\$	144	<b>145</b>
	EUR	146	<b>155</b>

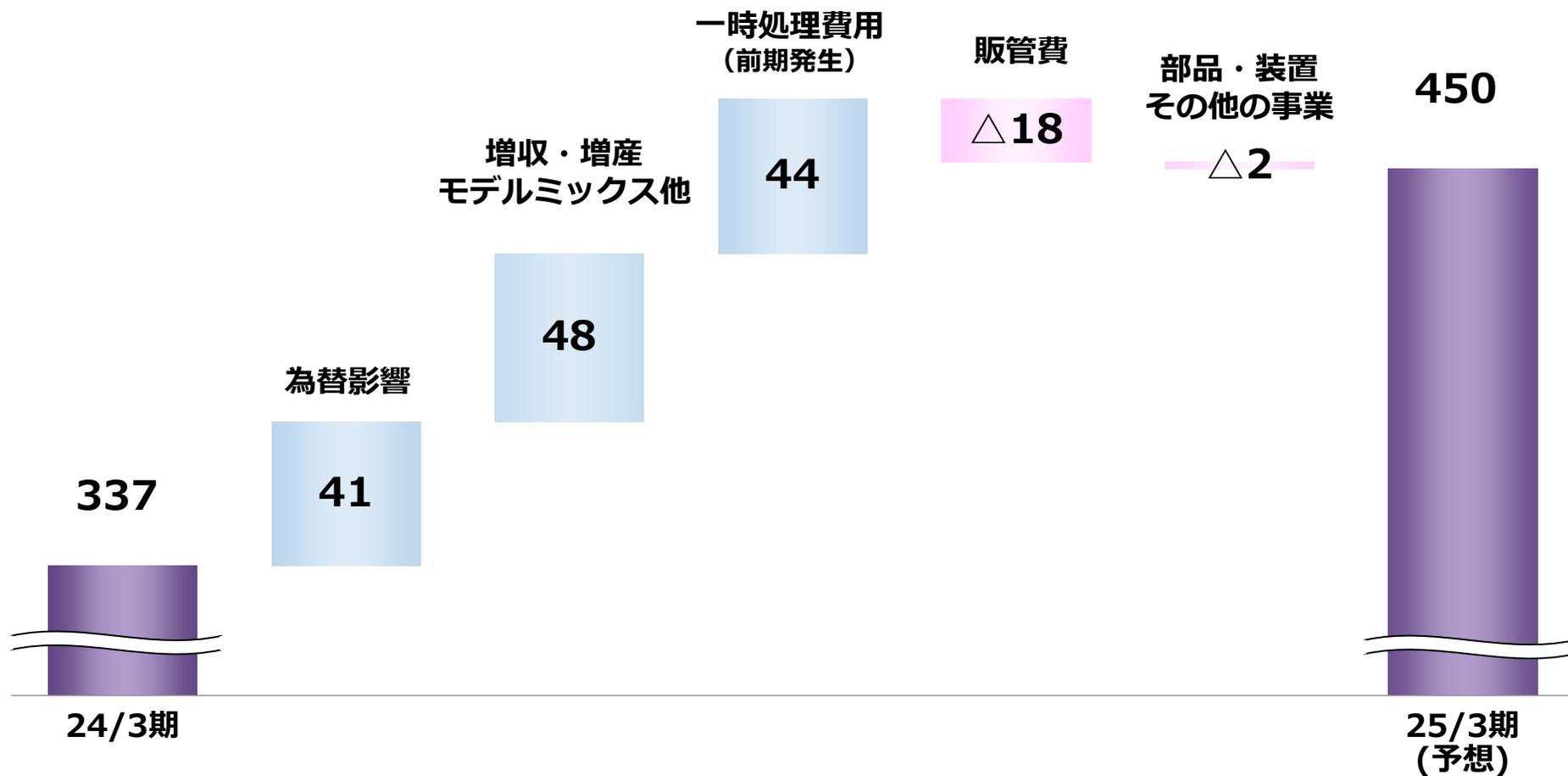
## 1円変動による影響額

売上収益	約9.1億円
事業利益	約6.5億円
当期利益	約1.1億円
その他	約4.4億円

# 事業利益増減要因予想

## 前期との比較

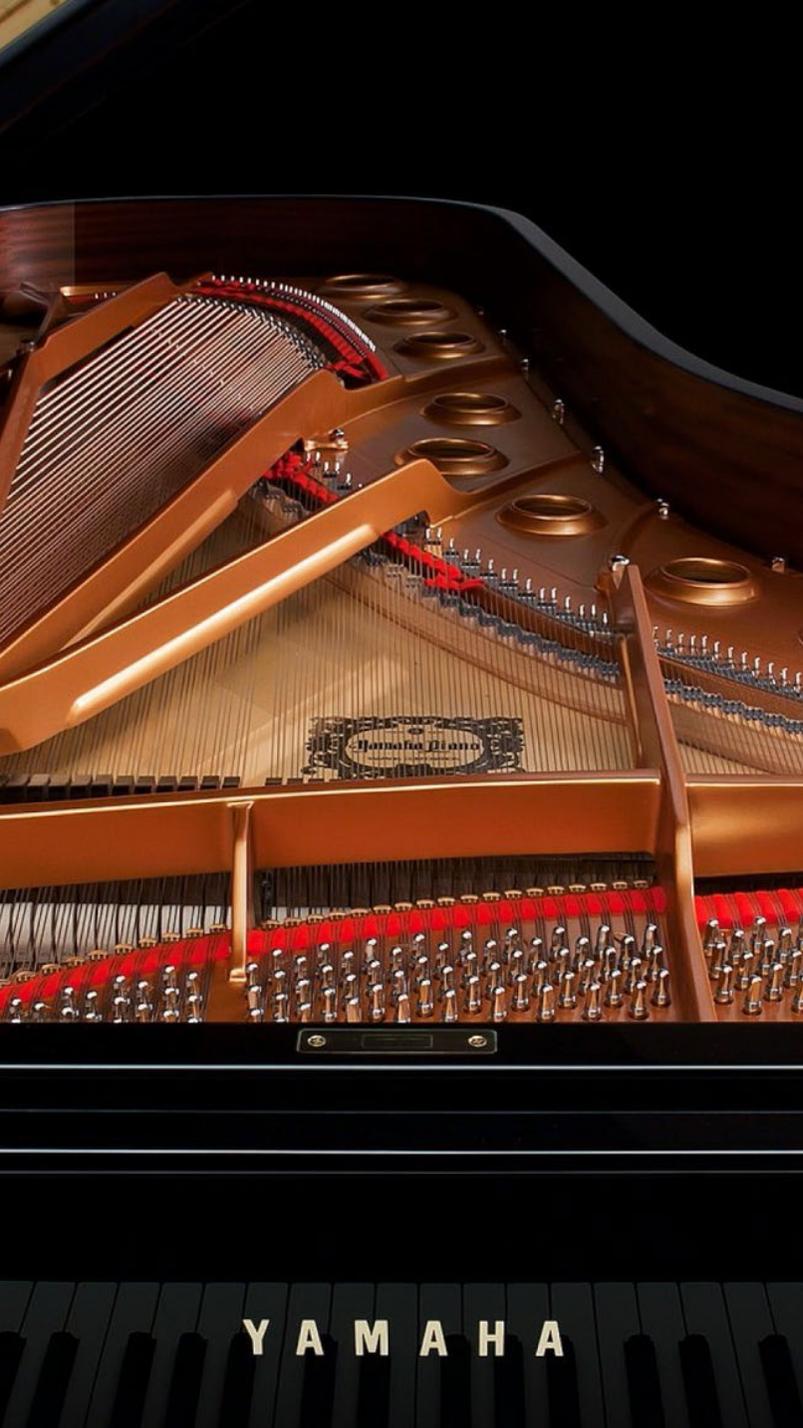
(億円)



# 事業別業績予想

(億円)

		24/3	25/3 (予想)	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	3,052	3,050	△2	△7
	事業利益	253	315	62	26
	事業利益率	8.3%	10.3%	+2.0P	
音響機器事業	売上収益	1,211	1,220	9	△4
	事業利益	64	110	46	14
	事業利益率	5.3%	9.0%	+3.7P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	366	380	14	1
	事業利益	19	25	6	1
	事業利益率	5.3%	6.6%	+1.3P	



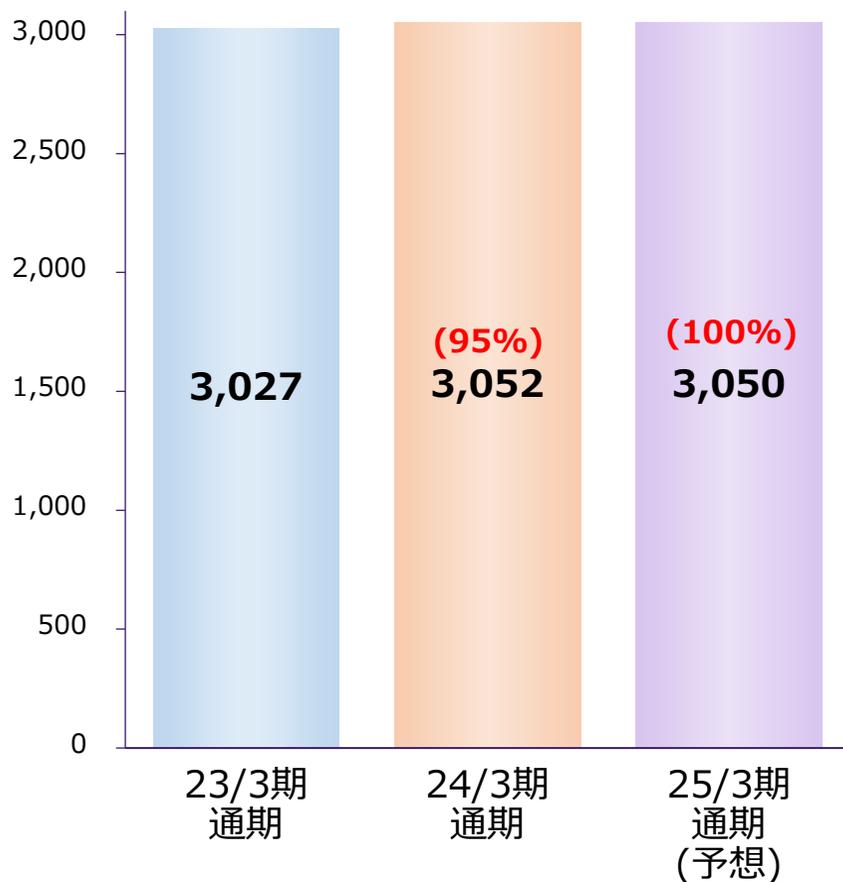
Y A M A H A

## 2. 事業別概要

# 売上収益・事業利益

## 売上収益

(億円)



### [24/3期] ピアノ、DP販売減により減収

・ピアノは中国市場低迷し減収、電子楽器はDP販売回復が遅れ減収、管弦打楽器は需要堅調で増収、ギターはエレキギター好調にコルドバ社が加わり増収

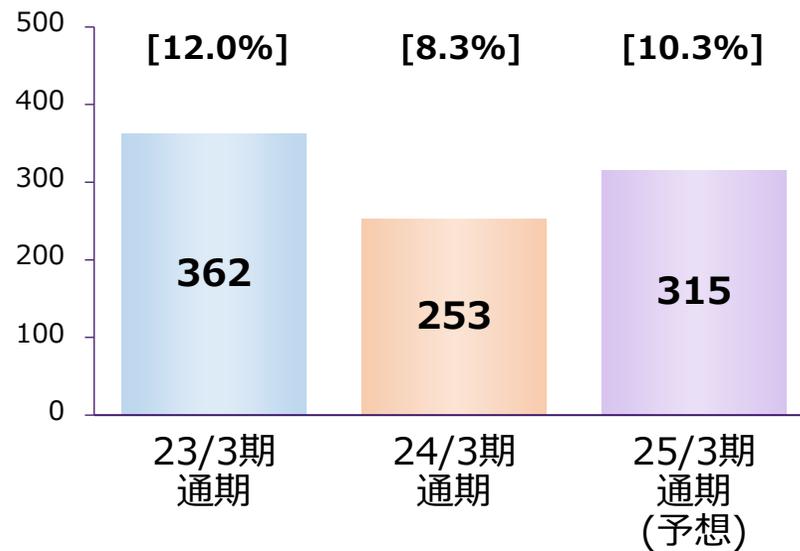
### [25/3期] 欧州・その他地域で増収も全体としては前年並みを予想

・ピアノは中国市場低迷続き減収、電子楽器は市中在庫水準改善し復調、管弦打楽器は米国の財政支援終了により減収、ギターは全地域で増収を予想

(増減収はすべて実質ベース)

## 事業利益

(億円)



( )内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[ ]内は事業利益率

# 主要商品 販売状況

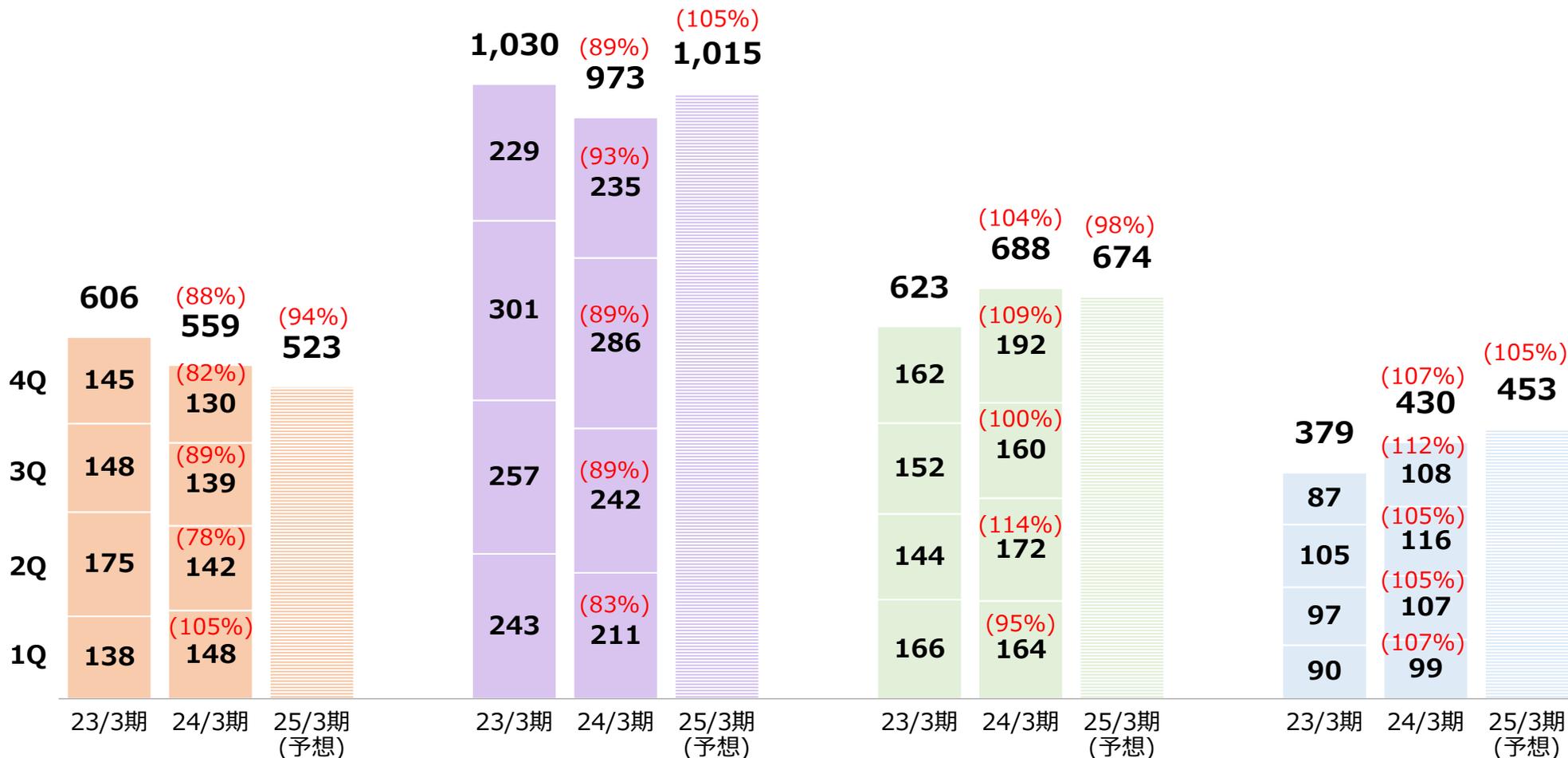
## ピアノ

## 電子楽器

## 管弦打楽器

## ギター

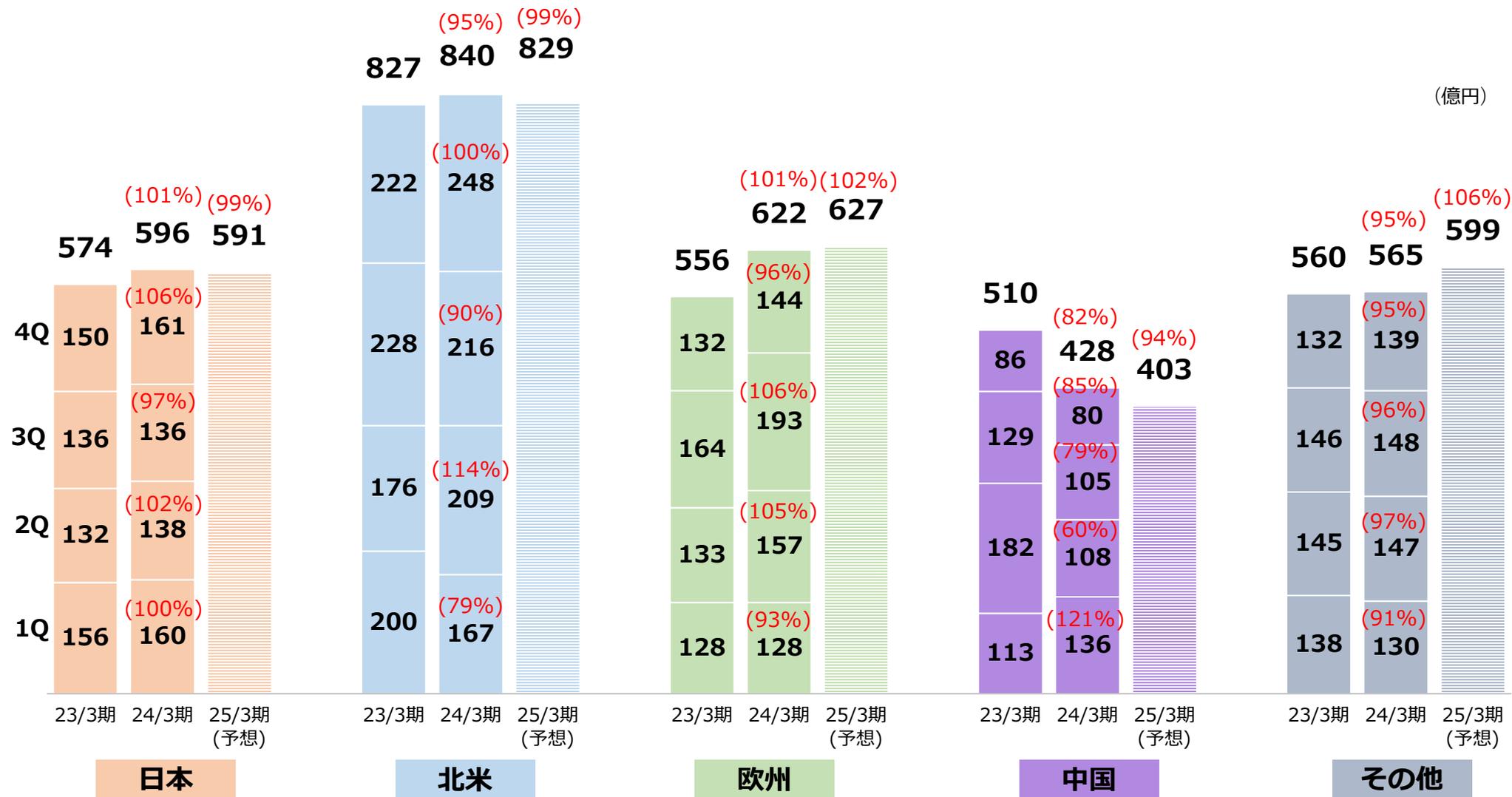
(億円)



( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

# 地域別 販売状況

(億円)

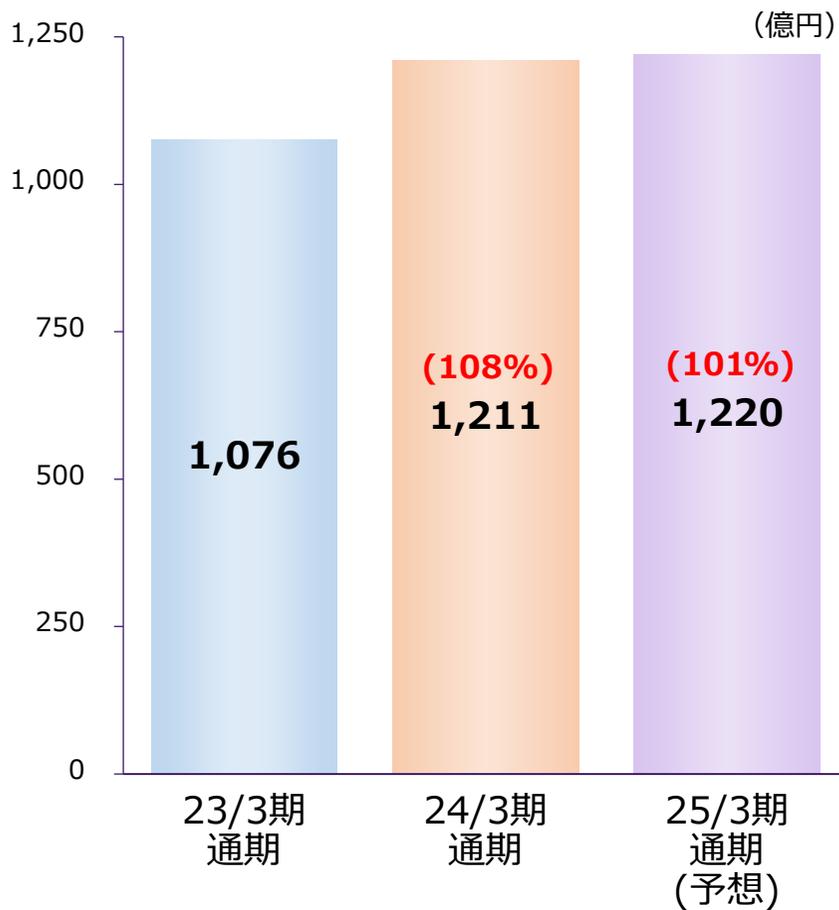


( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※ソフト、音楽教室等を含む

# 売上収益・事業利益

## 売上収益



### [24/3期] 法人向け好調により増収

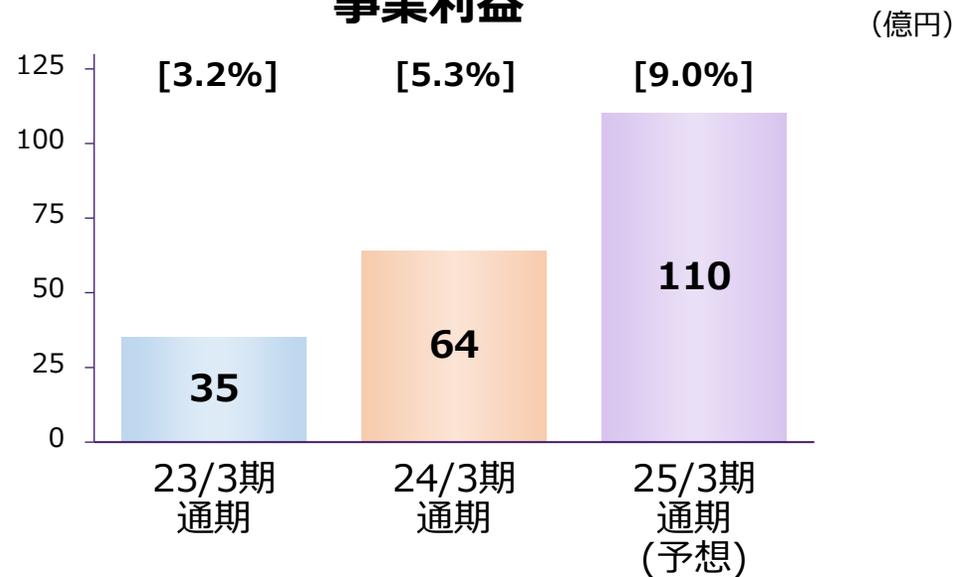
- ・個人向けは市況の低迷が続き減収
- ・法人向けは需要旺盛で新商品効果もあり大幅増収

### [25/3期] 個人・法人向けともに増収を予想

- ・個人向けは、HAは中高級に特化することで縮小も、音楽制作・配信系商品を軸に増収を予想
- ・法人向けは需要堅調継続し増収を予想

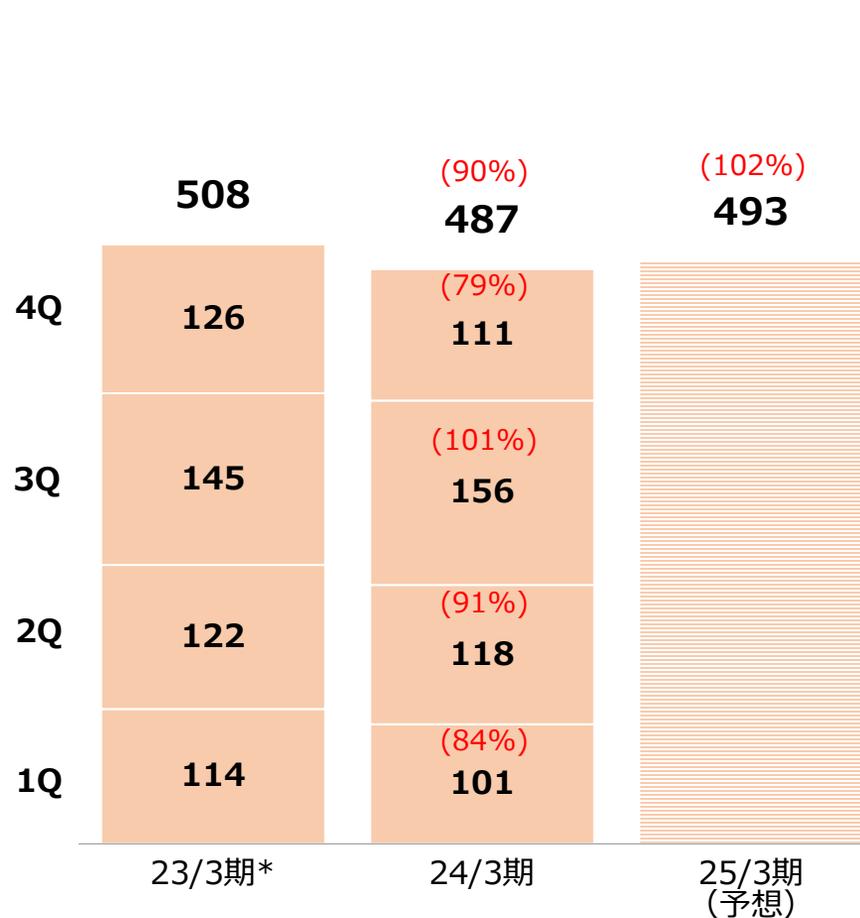
(増減収はすべて実質ベース)

## 事業利益

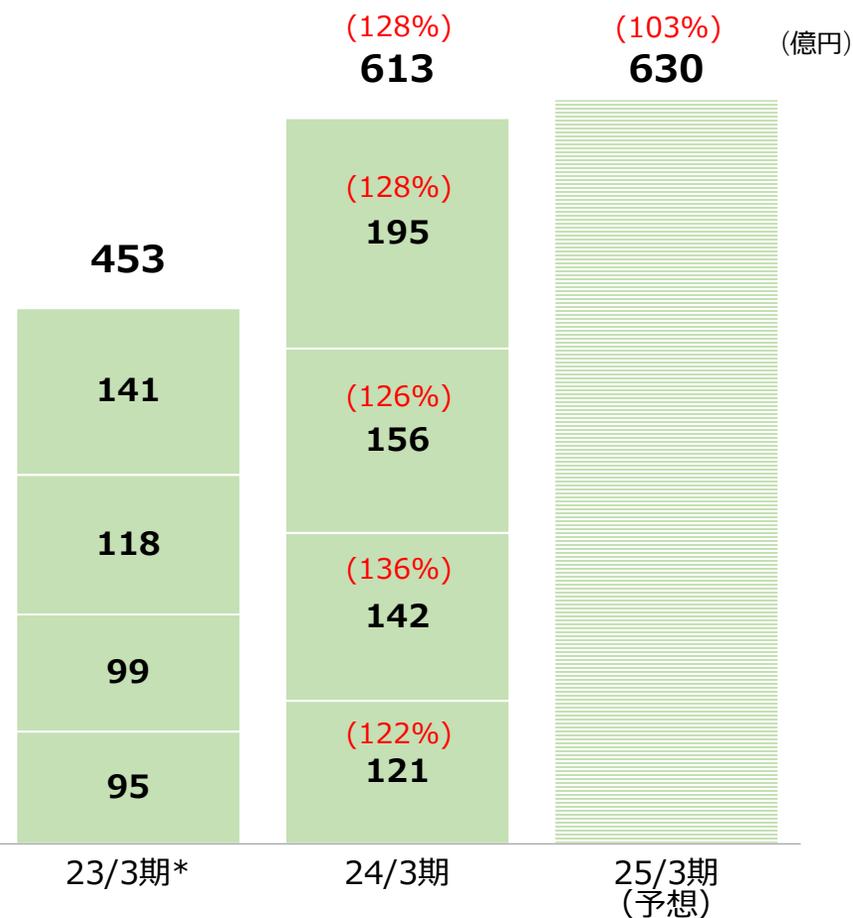


# 主要商品 販売状況

## 個人向け



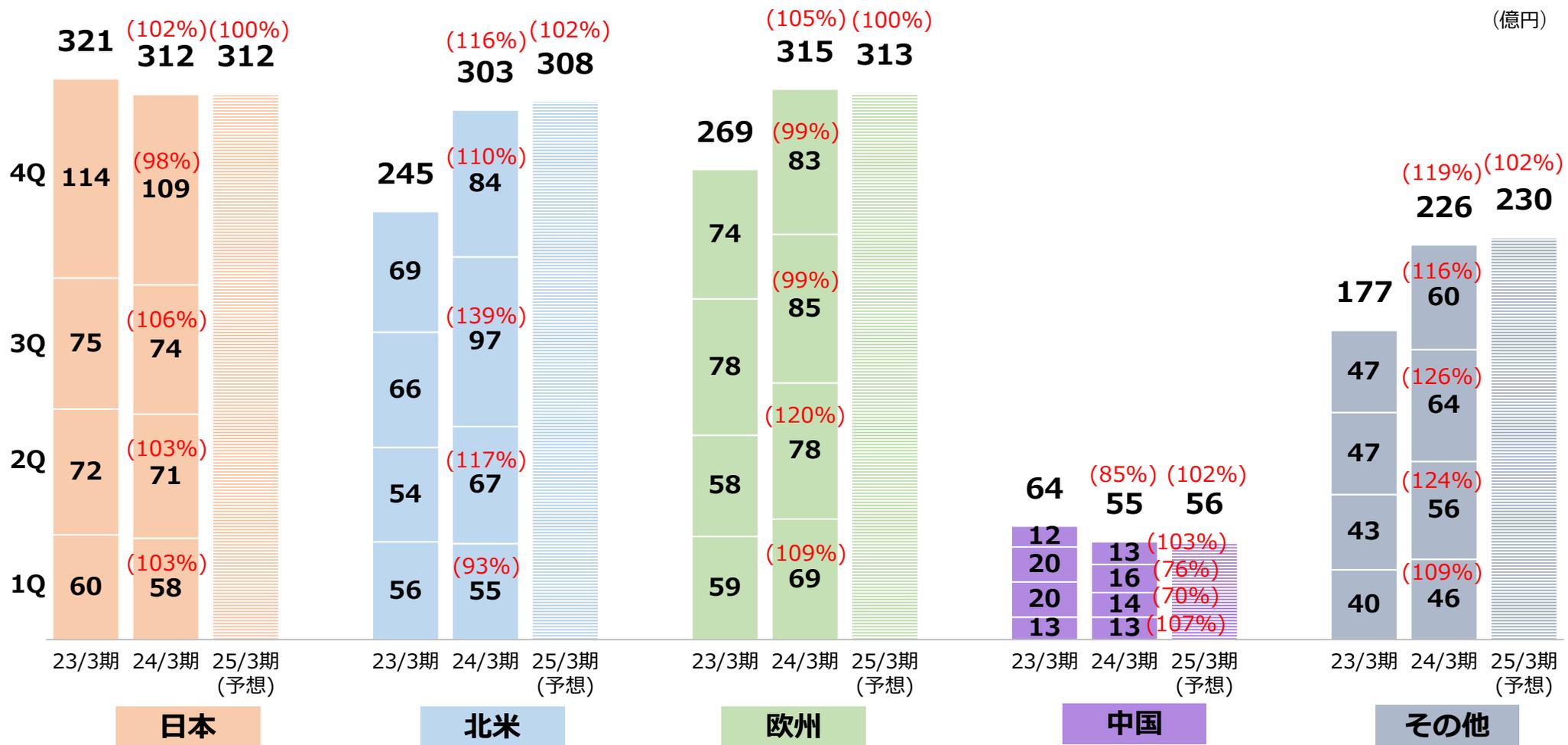
## 法人向け



\*24/3期からの区分変更を反映した組替値

( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

# 地域別 販売状況

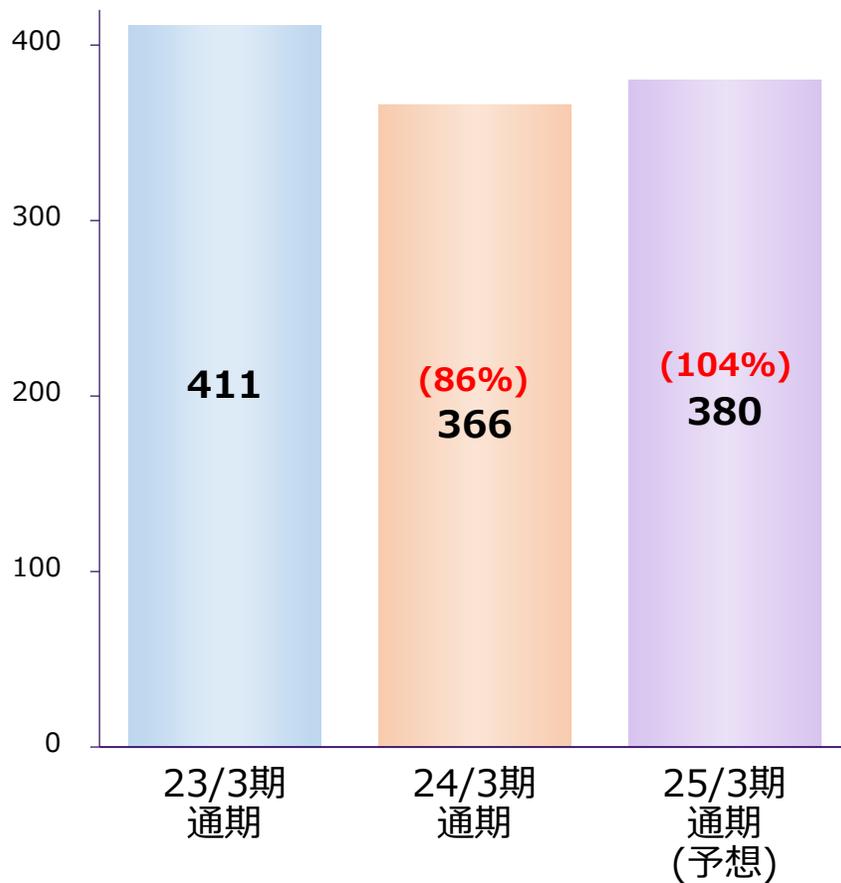


( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

# 売上収益・事業利益

## 売上収益

(億円)



( )内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

### [24/3期]

- ・車載オーディオの採用が拡大し、電子デバイスは増収
- ・自動車用内装部品、FA機器は減収
- ・ゴルフ用品は大幅減収

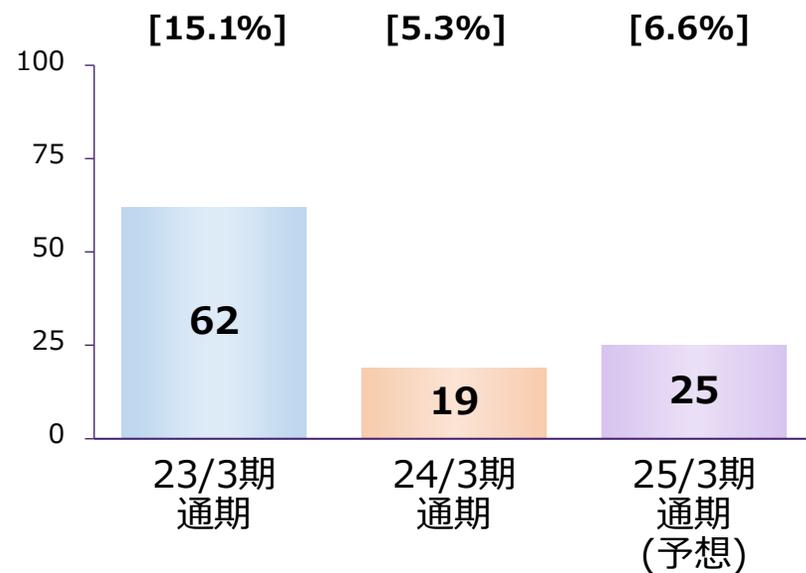
### [25/3期]

- ・車載オーディオの拡大が続き増収を予想

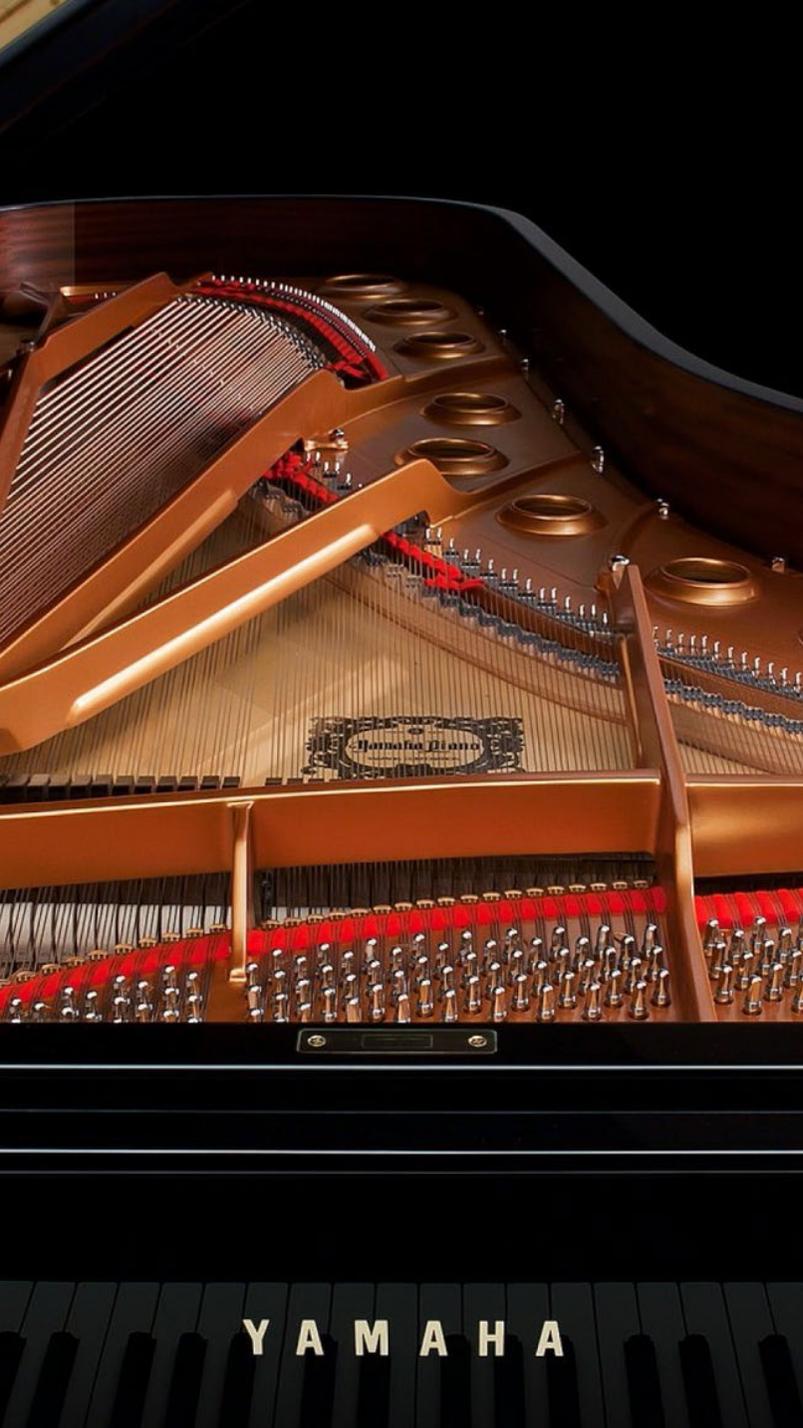
(増減収はすべて実質ベース)

## 事業利益

(億円)



[ ]内は事業利益率



### 3. その他財務数値

Y A M A H A

# 貸借対照表

(億円)

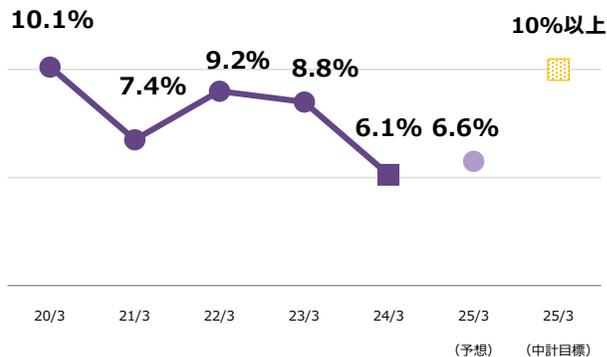
	23/3末	24/3末	増減	25/3末 (予想)
現金及び現金同等物	1,039	1,016	△23	1,240
営業債権他	754	880	126	880
その他金融資産	11	49	38	50
棚卸資産	1,537	1,641	105	1,420
他流動資産	126	107	△19	110
非流動資産	2,475	2,975	500	2,970
資産計	5,942	6,668	726	6,670
流動負債	951	1,057	106	1,000
非流動負債	412	493	82	494
資本計	4,579	5,118	539	5,176
負債及び資本計	5,942	6,668	726	6,670

※Cordoba Music Group, LLC取得による暫定的な会計処理の確定に伴い、2023年3月期の数値を遡及修正しています。

# ROE、ROIC、株主還元等

## ROE 24/3期 6.1%

(株主資本コスト\* 8.1%) \*CAPMベース

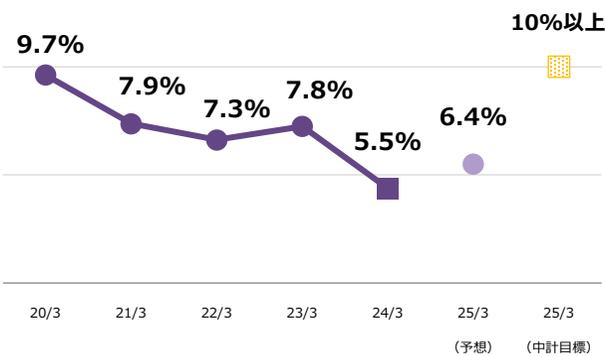


Make Waves 1.0

Make Waves 2.0

## ROIC 24/3期 5.5%

(WACC 8.0%)



Make Waves 1.0

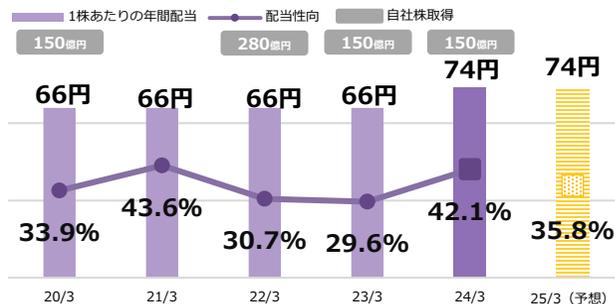
Make Waves 2.0

ROIC = 税引後事業利益 ÷ (親会社の所有者に帰属する株主資本 + 有利子負債)

### <現状評価と改善に向けた方針>

収益の悪化に伴いROEは6.1%と株主資本コストを下回る。今後、収益の改善および、株主還元を着実に実行することにより、まずは株主資本コストを上回るROEを目指す。

## 株主還元



総還元性向

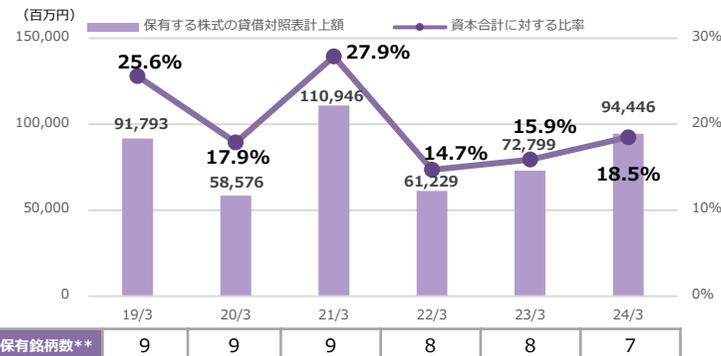
78.8%

目標 50%

Make Waves 1.0

Make Waves 2.0

## 政策保有株式



保有銘柄数\*\*

9

9

9

8

8

7

Make Waves 1.0

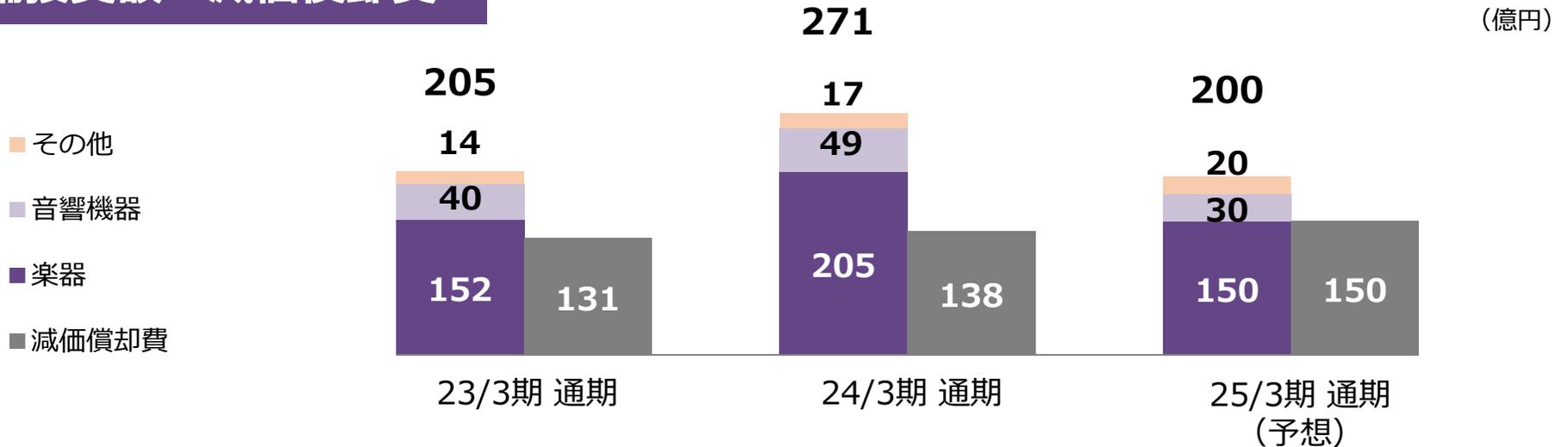
Make Waves 2.0

\*\* 上場株式 (株主に対する情報提供方法などの情報収集のため保有している銘柄を除く)

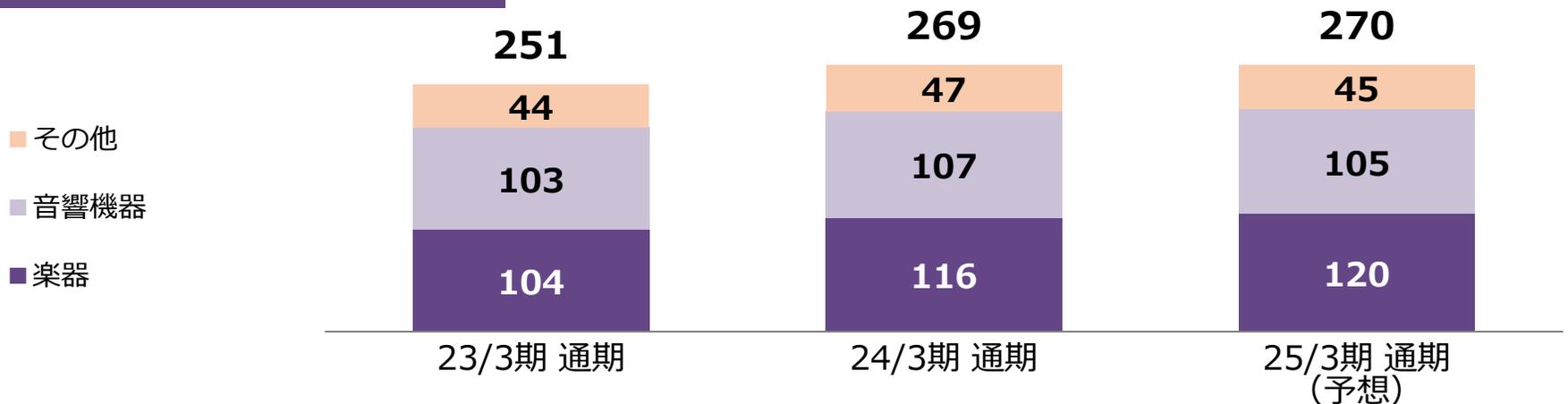
(注) 政策保有株式は継続的に縮減を進めていますが、2024年3月期においては株価の上昇により保有する株式の貸借対照表計上額及び資本合計に対する比率が前期に対し増加しています。

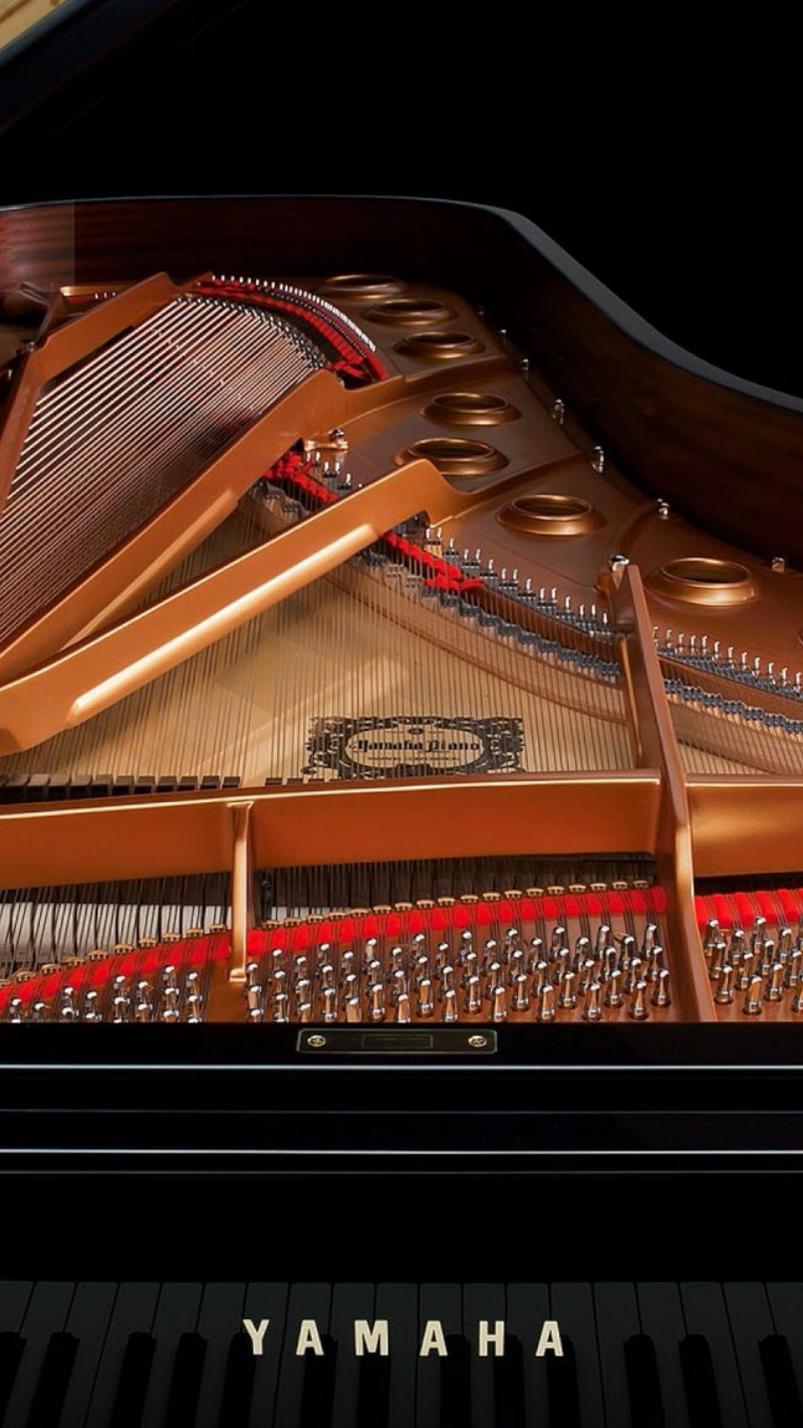
# 設備投資額・減価償却費 / 研究開発費

## 設備投資額・減価償却費



## 研究開発費





## 4. トピックス

# 中期経営計画 非財務目標の進捗

新たな社会で持続的な成長力を高めるための非財務目標

事業基盤を  
より強くする



顧客ともっと繋がる指標

○ Yamaha Music ID登録数  
2年目累計実績 中計目標  
**325万ID/500万ID**

新価値創出指標

○ 新コンセプト商品投入数  
2年目累計実績 中計目標  
**9モデル/20モデル**

レジリエンス指標

△ 生産インフラへの投資金額  
2年目累計実績 中計目標  
**104億円/350億円**

サステナビリティを  
価値の源泉に



音楽文化普及指標

◎ 器楽教育支援  
2年目実績 中計目標  
累計 **302万人/230万人**  
対象 **7カ国/10カ国**

環境負荷低減指標

○ 持続可能性に配慮した木材使用率  
2年目実績 中計目標  
**64%/75%**

△ 省エネによるCO2排出量削減  
2年目実績 中計目標  
**+1%/△5%**  
(CO2排出量/生産高)

ともに働く仲間の  
活力最大化



働きがい指標

○ 従業員サーベイ  
働きがい肯定的回答率  
継続的向上  
2年目実績  
**+1% 向上**

女性活躍推進指標

◎ 管理職女性比率  
2年目実績 中計目標  
グローバル **19.4%/19%**

働きやすさ指標

○ 従業員サーベイ  
働きやすさ肯定的回答率  
継続的向上  
2年目実績  
**+1% 向上**

# 中期経営計画 重点テーマ/事業基盤をより強くする

## ① 顧客ともっと繋がる

### 体験価値を高める顧客接点の整備



Yamaha Music London  
リニューアル (2023年10月)



フイルピン版社始動ヤマハ専売店  
リニューアル (2023年10月)



横浜シンフォステージ (2024年6月)



渋谷サクラステージ (2024年夏)

### 事業ドメインの拡大

車載オーディオの採用拡大 日中メーカー15車種発売



新型センチュリー  
(写真提供: トヨタ自動車)

[https://device.yamaha.com/ja/automotive\\_sound/](https://device.yamaha.com/ja/automotive_sound/)



XFORCE  
(写真提供: 三菱自動車)

[https://device.yamaha.com/ja/automotive\\_sound/](https://device.yamaha.com/ja/automotive_sound/)

## ② 新たな価値を創出する

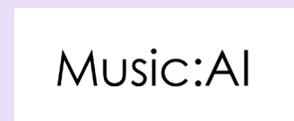
### ヤマハならではの顧客体験を創造 AI技術を活用した新価値提案



リアルタイムAI解析技術



AI歌声合成技術



車室音響の最適化AI技術



AI合奏アプリ

「Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター2024」に選出

世界の革新的な企業トップ100社に選出

[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2024/24031201/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2024/24031201/)

Top 100  
Global  
Innovator  
2024

Clarivate

### 音・音楽の新しい楽しみ方を提案

Yamaha Music Connectを通じたサービス提供、  
外部連携を加速



<https://www.yamaha.com/ja/about/business/music-connect/>



なりきりマイク



Distance Viewing/GPAP

## ③ 柔軟さと強靭さを備え持つ

### 環境変化に対応する供給力を強化

調達レジリエンスの強化

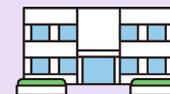
マレーシアに半導体調達会社を設立

[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2023/23122203/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23122203/)



日本でのものづくり基盤再構築

生産マザー機能を再強化し、グローバルでのものづくりを牽引



日本 (生産マザー機能)

技能 生産技術 商品開発



技術移転・  
新規要素導入・  
モニタリング・  
教育など



海外製造子会社

海外生産工場へのデジタルツイン導入開始、  
製造管理DX導入加速

### イノベーションを生み出す 知的財産基盤の強化

中国音響メーカーに対する意匠権侵害訴訟および  
中国楽器メーカーに対する著作権侵害訴訟勝訴

[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2024/24012901/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2024/24012901/)

[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2023/23101001/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23101001/)

# 中期経営計画 重点テーマ/事業基盤をより強くする

## ② 新たな価値を創出する ～ 個性際立つ新商品を投入 ～

### ハイブリッドピアノ



NU1XA

### 電子ピアノ



P-525

### ミュージックシンセサイザー



MONTAGE M

### ベーゼンドルファー グランドピアノ



Tree of Life

### アコースティックギター



FG9

### Line6 ギターアンプ



Catalyst CX シリーズ

### フィンガードラムパッド



FGDP

### ミュージックプロダクションスタジオ



SEQTRAK

### なりきりマイク



なりきりマイク VOLUME2  
Da-iCE

### デジタルミキサー



DM7

### 無線LANアクセスポイント



WLXシリーズ

### HiFiスピーカー



NS-800A/600A

### ポータブルPAシステム



STAGEPAS 100

### 楽器用ステレオワイヤレス ヘッドホン



YH-WL500

### ヘッドホンアンプ



HA-L7A

### USBマイク



YCMシリーズ

### 配信用オーディオミキサー



ZG02

### 自動車用内装部品



車内装用加飾パネル

# 中期経営計画 重点テーマ/サステナビリティを価値の源泉に

【環境】

## ①地球と社会の未来を支える バリューチェーンを築く

### 2050年カーボンニュートラルに向けた CO<sub>2</sub>排出量削減

本社および国内・海外生産拠点計13か所で  
電力監視システム導入

再生可能エネルギーへの転換

- 一中国蘇州工場に太陽光発電増設
- 一掛川工場に国内初の大型太陽光発電着工

気候変動への取り組み評価

- 一CDP2023気候変動Aリスト企業 選定



### 持続可能な木材の利用

持続可能性に配慮した木材の  
自社基準導入

国際環境団体Preferred by Nature監修



楽器材料となる希少樹種の育成・  
保全活動を推進

おとの森



<https://www.yamaha.com/ja/stories/environment/otonomori/>

### 持続可能な楽器作り

未利用材・間伐材活用とプラスチック使用量削減の挑戦



サステナブルキーボード アップサイクリングギター タイバースティックネット

【社会】

## ②快適な暮らしへの貢献で ブランド・競争力を向上する

音のユニバーサルデザイン化を目指し  
公共機関における課題解決に貢献  
SoundUD技術を活用したおもてなしガイド



みえるアナウンス

スマホでインターホン

### 「音」を通じた体験で子供たちの感性を育む

メトロポリタン美術館の子ども向けインタラクティブ・  
ラーニング・スペースの一区画をヤマハがデザイン



撮影：Paula Lobo、提供：メトロポリタン美術館

<https://www.yamaha.com/ja/tech-design/design/events-topics/material-orchestra/>

音声ソリューションによる  
交通事故被害低減の取り組み  
車両緊急通報通話システム採用拡大

<https://www.yamaha.com/ja/stories/feature/feature-07/>

【文化】

## ③音楽文化の普及・発展 により市場を拡大する

### 新興国の音楽教育普及の 取り組み拡大

コロンビアの音楽教育普及事業が  
「EDU-Portニッポン」に採択  
(ベトナム・エジプト・ブラジル・インドに続く)

[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2024/24022001/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2024/24022001/)



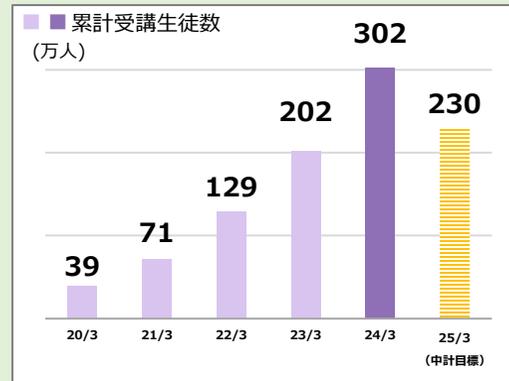
インドの公立初等学校で  
リコーダーを使った日本の  
音楽教育開始



パイロット校8校で展開中

[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2023/23051201/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23051201/)

### 【音楽教育普及活動の推移】



<https://www.yamaha.com/ja/stories/culture/school-project/>

# 中期経営計画 重点テーマ/ともに働く仲間の活力最大化

## ① 働きがいをもつ

### 自律的キャリア開発の支援

ジョブ・スキルを整理し、社員自らのキャリア形成を支援するタレントマネジメントシステム導入

### 多様で柔軟な働き方の支援

社内キャリア採用公募制度、副業制度などの運用開始

### 従業員が社会と直接関わり個性を発揮する機会を提供



従業員社会貢献プログラム

## ② 人権尊重とDE&Iを推進する

### 多様な人材が活躍できる環境整備

女性リーダー育成に向けたメンターや研修などの支援実施

グローバルな人材活用に向け、クロスボーダー配置拡大

インクルーシブな風土醸成のための無意識バイアス研修を実施

(国内全従業員・海外生産工場)

<https://www.yamaha.com/ja/sustainability/diversity-equity-inclusion/>

### DE&Iへの取り組み評価



[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2023/23110801/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23110801/)  
<https://www.yamaha.com/ja/sustainability/social/diversity/>

## ③ 風通しがよく、皆が挑戦する組織風土を醸成する

### 心理的安全性を高め働きやすい風土醸成

各部門で多様な対話の機会を継続

社長職場訪問 (リモート・実地)

年24回実施、のべ1,370名参加



傾聴トレーニングを実施し、風通しの良い組織風土を後押し

### 安全と健康の向上

従業員の心身の健康維持・増進を経営の重要テーマに位置づけ

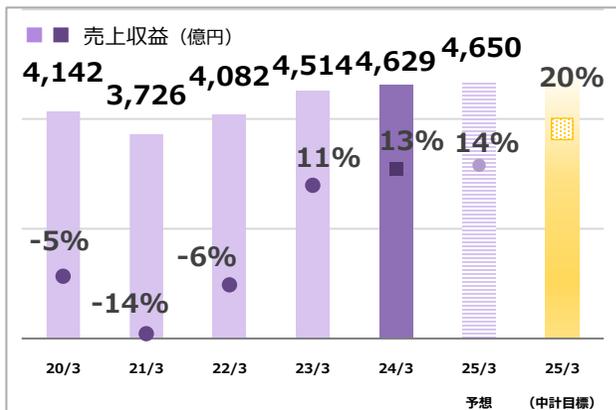
健康経営優良法人  
(ホワイト500) に認定



[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2024/24031101/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2024/24031101/)  
<https://www.yamaha.com/ja/sustainability/social/health-and-safety/>

# 中期経営計画 財務目標

## 売上収益/売上成長率\*

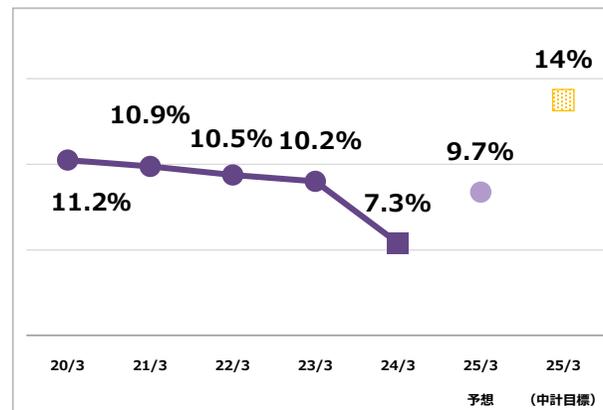


Make Waves 1.0

Make Waves 2.0

\* 中計期間累計の成長率

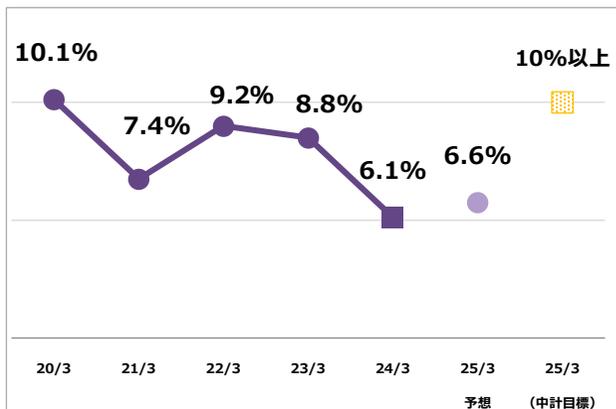
## 事業利益率



Make Waves 1.0

Make Waves 2.0

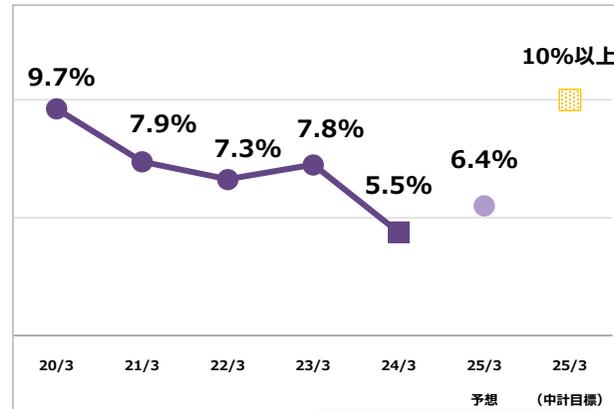
## ROE



Make Waves 1.0

Make Waves 2.0

## ROIC



Make Waves 1.0

Make Waves 2.0

# 社外からの評価

## GPIFが採用する6本全てのESG指数に選定

- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- 新** MSCI日本株ESGセレクトリーダーズ指数
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt (GenDi J)



FTSE Blossom Japan



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

MORNINGSTAR GenDi J  
Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index  
TOP CONSTITUENT 2023

## Best Japan Brands 2024

10年連続選定  
対前年2ランクアップの26位、ブランド価値14%増加\*

(US\$百万)

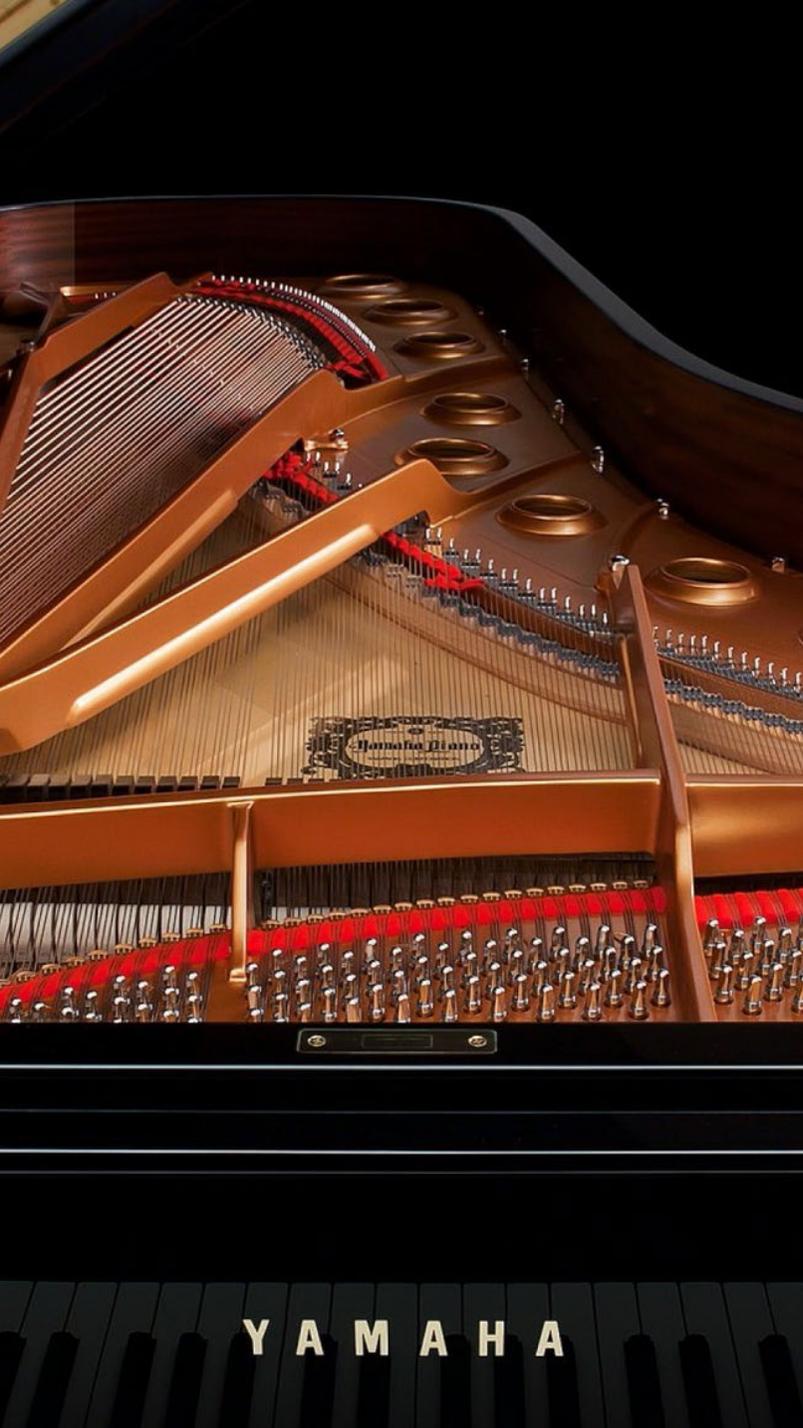
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

\* ヤマハ(株)とヤマハ発動機(株)の合同ブランド価値

## 第3回日経統合報告書アワード優秀賞 受賞



FTSE Russell (the trading name of FTSE International Limited and Frank Russell Company) confirms that Yamaha Corporation has been independently assessed according to the FTSE4Good criteria, and has satisfied the requirements to become a constituent of the FTSE4Good Index Series. Created by the global index provider FTSE Russell, the FTSE4Good Index Series is designed to measure the performance of companies demonstrating strong Environmental, Social and Governance (ESG) practices. The FTSE4Good indices are used by a wide variety of market participants to create and assess responsible investment funds and other products.  
 FTSE Russell (FTSE International Limited & Frank Russell Company)の登録商標はここにヤマハ株式会社第三者提供の結果、FTSE Blossom Japan Indexの選定に必要と認められ、ネインデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan IndexはグローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellの所属し、種別、社会、ガバナンス (ESG) について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。  
 FTSE Russell (FTSE International Limited & Frank Russell Company)の登録商標はここにヤマハ株式会社第三者提供の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの選定に必要と認められ、ネインデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。  
 THE INCLUSION OF YAMAHA CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF YAMAHA CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDICES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.  
 Morningstar, Inc. and/or one of its affiliated companies (individually and collectively, "Morningstar") has authorized Yamaha Corporation to use of the Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Logo ("Logo") to reflect the fact that, for the designated ranking year, Yamaha Corporation ranks in the top quartile of companies comprising the Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index ("Index") on the issue of gender diversity in the workplace. Morningstar is making the Logo available for use by Yamaha Corporation solely for informational purposes. Yamaha Corporation use of the Logo should not be construed as an endorsement by Morningstar of Yamaha Corporation or as a recommendation, offer or solicitation to purchase, sell or underwrite any security associated with Yamaha Corporation. The Index is designed to reflect gender diversity in the workplace in Japan, but Morningstar does not guarantee the accuracy, completeness or timeliness of the Index or any data included in it. Morningstar makes no express or implied warranties regarding the Index or the Logo, and expressly disclaim all warranties of merchantability or fitness for a particular purpose or use with respect to the Index, any data included in it or the Logo. Without limiting any of the foregoing, in no event shall Morningstar or any of its party content providers have any liability for any damages (whether direct or indirect), arising from any party's use or reliance on the Index or the Logo, even if Morningstar is notified of such damages. The Morningstar name, Index name and the Logo are the trademarks or services marks of Morningstar, Inc. Past performance is no guarantee of future results.



Y A M A H A

# 付属資料

# 4Q 業績概要

(億円)

	23/3	24/3	前期比	
売上収益	1,132	<b>1,211</b>	79	+7.0% <sup>*2</sup>
事業利益 (事業利益率)	71 (6.3%)	<b>59</b> (4.8%)	△13	△17.9%
当期利益 <sup>*1</sup>	82	<b>89</b>	7	9.1%

\*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	132	<b>149</b>
	EUR	142	<b>161</b>
利益 (決済レート)	US\$	133	<b>147</b>
	EUR	140	<b>152</b>

\*2  
 △1.2%  
 (為替影響除く)

# 4Q 事業別実績

(億円)

		23/3	24/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	722	771	49	62
	事業利益	48	40	△9	14
	事業利益率	6.7%	5.1%	△1.5P	
音響機器事業	売上収益	315	349	34	26
	事業利益	18	23	6	4
	事業利益率	5.6%	6.6%	1.1P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	95	91	△4	5
	事業利益	6	△4	△10	3
	事業利益率	5.9%	△4.7%	△10.6P	

# 通期 その他収支等

(億円)

		23/3	24/3	25/3 (予想)
<b>事業利益</b>		<b>459</b>	<b>337</b>	<b>450</b>
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	△0	△0	△1
	その他	6	△46	1
	計	6	△47	0
<b>営業利益</b>		<b>465</b>	<b>290</b>	<b>450</b>
金融収支計	受取配当金	26	30	30
	その他	15	57	△15
	計	41	86	15
<b>税前利益</b>		<b>506</b>	<b>376</b>	<b>465</b>
法人税等		△124	△79	△124
非支配株主利益		△0	△1	△1
<b>当期利益*</b>		<b>382</b>	<b>296</b>	<b>340</b>

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。